

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校日本デザイナー学院
設置者名	学校法人九州呉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	デザイン学科	グラフィックデザイン科	夜・通信	240	240	
		イラストレーション科	夜・通信	240	240	
	クリエイティブ学科	くらしデザイン科	夜・通信	240	240	
		ゲームクリエイター科	夜・通信	240	240	
	デザイン学科	コミックイラスト科	夜・通信	160	160	
		マンガ科	夜・通信	160	160	
		映像・写真科	夜・通信	160	160	
		雑貨&アクセサリーデザイン科	夜・通信	160	160	
(備考)						

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校日本デザイナー学院
設置者名	学校法人九州呉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 <https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/> 情報公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	他学校法人講師（前職）	2025.6.14～ 2029.6.13	学校運営に関する助 言、運営体制に関す るチェック。
非常勤	株式会社管理職	2025.6.14～ 2029.6.13	学校運営に関する助 言、運営体制に関す るチェック。
（備考）			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日本デザイナー学院
設置者名	学校法人九州呉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定める。授業開始前年度 1 月から履修表・授業計画書の作成を開始し、履修表は各学科担当者が、授業計画書は各授業担当者が授業開始前年度 3 月までに作成する。 新年度開始時に全学生に対し学生専用サイトにてシラバスの配布・公表を行い授業の説明を行う。	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の 3 分の 2 以上を出席し、平常授業の成績が 60 点以上を得た科目を合格とする。 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点 60 点以上で合格とする。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○GPA 制度の導入

各学科の授業ごとに習熟度および授業課題の提出を基に成績評価を行う。
学習成果を総合的に判断する指標として GPA 制度を用いる。

○GPA 対象科目

全ての授業科目を対象授業科目とする。但し合格・不合格のみで評価を行う授業科目については対象外とする。

○GPA 評価方法

点 数	評 価	G P	合 否
100 ～ 80 点	A	4	合 格
79 ～ 70 点	B	3	
69 ～ 60 点	C	2	
59 点 以下	D	1	不 合 格

$$\text{GPA 算出方法} = \frac{\text{【履修科目の単位数} \times \text{GP】の合計}}{\text{履修した講義の総単位数}}$$

※単位数について

講義系科目は 15 時間～30 時間、実習実技系科目は 30 時間～45 時間をもって 1 単位とする。

※各授業科目において 3 分の 2 以上出席をしていることを評価の条件とする

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページにて公表
<https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/> 情報公開

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して卒業資格を得た専門課程学生に対し卒業認定を行う。

単位認定)

- ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が 60 点以上の者を合格とし単位を与える。
- ・各授業科目において 3 分の 2 以上出席していることが単位判定の基準とする。

試験・審査)

- ・各学年前期末審査・進級審査において 60 点以上、卒業審査において 70 点以上の者を合格とする。

上記基準を満たした者に卒業資格を付与し、卒業判定会議において校長が卒業認定の判定を行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公表
<https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/> 情報公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校日本デザイナー学院
設置者名	学校法人九州呉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開
財産目録	ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養 専門課程	デザイン学科 グラフィックデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間	570 単位時間	435 単位時間	468 単位時間		1560 単位時間
			3033 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
120 人		103 人	1 人の内数	4 人の内数	18 人の内数		22 人 の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目]

各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上を得た科目を合格とする。 80点以上：A評価 70点以上80点未満：B評価 60点以上70点未満：C評価 60点未満：D評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定) ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が60点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において3分の2以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) ・各学年前期末審査・進級審査において60点以上、卒業審査において70点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等 (概要) ・クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・個別面談 定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。 ・姉妹校との連携授業 日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。

・株式会社 SCH00 との連携 オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。 ・就職支援 キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (93.3%)	1 人 (6.7%)
（主な就職、業界等） グラフィックデザイナー・WEB 制作会社・印刷会社・パッケージデザイナー 他			
（就職指導内容） 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） JAGDA 学生ポスターコンテスト受賞／Adobe 検定（Ai/Ps）			
（備考）（任意記載事項） 総定員はデザイン学科 3 年制イラストレーション科と合わせた合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74 人	1 人	1.4%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の減退		
（中退防止・中退者支援のための取組） 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養 専門課程	デザイン学科 イラストレーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間	525 単位時間	450 単位時間	351 単位時間		1647 単位時間
			2973 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		113 人	1 人	4 人の内数	16 人の内数	20 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上を得た科目を合格とする。 80点以上：A評価 70点以上80点未満：B評価 60点以上70点未満：C評価 60点未満：D評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点60点以上で合格とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。	

単位認定) ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が 60 点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において 3 分の 2 以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) ・各学年前期末審査・進級審査において 60 点以上、卒業審査において 70 点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。			
学修支援等			
(概要) ・クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・個別面談 定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。 ・姉妹校との連携授業 日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。 ・株式会社 SCH00 との連携 オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。 ・就職支援 キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

14 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (85.7%)	2 人 (14.3%)
(主な就職、業界等) デザイナー・作家・イラストレーター (フリーランス) ・アパレル販売 他			
(就職指導内容) 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) Adobe 検定 (Ai/Ps)			
(備考) (任意記載事項) 総定員はデザイン学科 3 年制グラフィックデザイン科と合わせた合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	2 人	2.5%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の減退・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養 専門課程	クリエイティブ学科 くらしデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間	540 単位時間	495 単位時間	351 単位時間		1587 単位時間
			2973 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		19 人	1 人	4 人の内数	16 人の内数	20 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。

新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価について、前期・後期末終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上を得た科目を合格とする。 80点以上：A評価 70点以上80点未満：B評価 60点以上70点未満：C評価 60点未満：D評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定) ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が60点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において3分の2以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) ・各学年前期末審査・進級審査において60点以上、卒業審査において70点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・個別面談

定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。

・姉妹校との連携授業

日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にしながら受講することが可能。

・株式会社 SCH00 との連携

オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。

・就職支援

キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (80%)	1 人 (20%)
(主な就職、業界等) デザイナー（フリー）・飲食店・医療関係 他			
(就職指導内容) 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) Adobe 検定（Ai/Ps）			
(備考)（任意記載事項） 総定員はクリエイティブ学科 3 年制ゲームクリエイター科と合わせた合計人数			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	1 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組) 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養 専門課程	クリエイティブ学科 ゲームクリエイター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2700 単位時間	495 単位時間	825 単位時間	906 単位間	単位時間	702 単位時間
			2928 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		19 人	0 人の内数	4 人の内数	10 人の内数	14 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の 3 分の 2 以上を出席し、平常授業の成績が 60 点以上を得た科目を合格とする。 80 点以上：A 評価 70 点以上 80 点未満：B 評価 60 点以上 70 点未満：C 評価 60 点未満：D 評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点 60 点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準

(概要) 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定) ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が 60 点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において 3 分の 2 以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) ・各学年前期末審査・進級審査において 60 点以上、卒業審査において 70 点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等 (概要) ・クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・個別面談 定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。 ・姉妹校との連携授業 日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。 ・株式会社 SCH00 との連携 オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。 ・就職支援 キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) CG デザイナー・映像制作・IT 系企業 他			
(就職指導内容) 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) Adobe 検定 (Ai/Ps) ／色彩検定			
(備考) (任意記載事項) 総定員はクリエイティブ学科 3 年制くらしデザイン科と合わせた合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の減退		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養 専門課程	デザイン学科 コミックイラスト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間	360 単位時間	450 単位時間	279 単位時間		888 単位時間
			1977 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		110 人	1 人	4 人の内数	9 人の内数	13 人 の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を

基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法 (概要) 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上を得た科目を合格とする。 80点以上：A評価 70点以上80点未満：B評価 60点以上70点未満：C評価 60点未満：D評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点60点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定) - 各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が60点以上の者を合格とし単位を与える。 - 各授業科目において3分の2以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) - 各学年前期末審査・進級審査において60点以上、卒業審査において70点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等 (概要) - クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 - 個別面談

定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。

・姉妹校との連携授業

日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。

・株式会社 SCH00 との連携

オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。

・就職支援

キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
49 人 (100%)	0 人 (0%)	44 人 (89.8%)	5 人 (10.2%)
(主な就職、業界等) グラフィックデザイナー・WEB 制作会社・印刷会社・パッケージデザイナー 他			
(就職指導内容) 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) Adobe 検定 (Ai/Ps)			
(備考) (任意記載事項) 総定員はデザイン学科 2 年制コミックイラスト科、マンガ科、映像・写真科、 雑貨&アクセサリデザイン科の合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112 人	5 人	4.5%

(中途退学の主な理由) 学習意欲の減退・進路変更・病気による退学
(中退防止・中退者支援のための取組) 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養 専門課程	デザイン学科 マンガ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間	375 単位時間	330 単位時間	369 単位時間		843 単位時間
			1917 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		29 人	1 人	4 人の内数	8 人の内数	12 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の 3 分の 2 以上を出席し、平常授業の成績が 60 点以上を得た科目を合格とする。 80 点以上：A 評価 70 点以上 80 点未満：B 評価 60 点以上 70 点未満：C 評価 60 点未満：D 評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点 60 点以上で合格とする。

卒業・進級の認定基準
(概要) 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定) ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が 60 点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において 3 分の 2 以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) ・各学年前期末審査・進級審査において 60 点以上、卒業審査において 70 点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・個別面談 定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。 ・姉妹校との連携授業 日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。 ・株式会社 SCH00 との連携 オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。 ・就職支援 キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職

希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (77.8%)	2 人 (22.2%)
（主な就職、業界等） 技術職／製造業 他			
（就職指導内容） 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） Adobe 検定（Ai/Ps）／色彩検定			
（備考）（任意記載事項） 総定員はデザイン学科 2 年制コミックイラスト科、マンガ科、映像・写真科、 雑貨&アクセサリデザイン科の合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	1 人	4.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲の減退		
（中退防止・中退者支援のための取組） 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養 専門課程	デザイン学科 映像・写真科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間	345 単位時間	330 単位時間	519 単位時間		768 単位時間
			1962 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
240 人		23 人	1 人	5 人の内数	9 人の内数		14 人 の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の 3 分の 2 以上を出席し、平常授業の成績が 60 点以上を得た科目を合格とする。 80 点以上：A 評価 70 点以上 80 点未満：B 評価 60 点以上 70 点未満：C 評価 60 点未満：D 評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点 60 点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定） ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が 60 点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において 3 分の 2 以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査） ・各学年前期末審査・進級審査において 60 点以上、卒業審査において 70 点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等

(概要) ・ クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・ 個別面談 定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。 ・ 姉妹校との連携授業 日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。 ・ 株式会社 SCH00 との連携 オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。 ・ 就職支援 キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	2 人 (50%)	2 人 (50%)
(主な就職、業界等) フォトグラファー／WEB デザイナー 他			
(就職指導内容) 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) Adobe 検定 (Ai/Ps)			
(備考) (任意記載事項) 総定員はデザイン学科 2 年制コミックイラスト科、マンガ科、映像・写真科、雑貨&アクセサリデザイン科の合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養 専門課程	デザイン学科 雑貨&アクセサリデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間	285 単位時間	435 単位時間	264 単位時間		978 単位時間
			1962 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		16 人	0 人	4 人の内数	15 人の内数	19 人 の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科代表講師と教務課職員において個別面談情報や学生授業アンケートなどを参考に業界のニーズを考慮し年間授業の見直しを行う。現在の課題・業界の現状をまとめた上で関連企業や個人事業主等業界関係者からヒアリング。業界関係者からの助言を基に学科会議・講師会等を経て各授業の目的、目標、教育的効果、評価を定め、履修表・シラバスの作成を行う。 新年度開始時に全学生に対しシラバスの配布を行い授業の説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価について、前期・後期終了時に下記の通り算出を行う。 [平常科目] 各学科の授業ごとに出席および習熟度、授業課題の提出による評価とする。成績評価については各期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出する。 各授業の 3 分の 2 以上を出席し、平常授業の成績が 60 点以上を得た科目を合格とする。 80 点以上：A 評価 70 点以上 80 点未満：B 評価 60 点以上 70 点未満：C 評価

60 点未満：D 評価 [期末試験] 前期末・後期末に学科ごとに設定される課題を提出する。 各学科の授業を担当する講師陣が採点し、平均成績を算出する。 所定課題を提出して平均点 60 点以上で合格とする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 各科に定められた修業年限に達し、規定授業時間の出席および所定の単位を修得して進級・卒業資格を得た専門課程学生に対し進級・卒業認定を行う。 単位認定) ・各授業科目において所定の課題を提出し、提出作品の平均点が 60 点以上の者を合格とし単位を与える。 ・各授業科目において 3 分の 2 以上出席していることが単位判定の基準とする。 試験・審査) ・各学年前期末審査・進級審査において 60 点以上、卒業審査において 70 点以上の者を合格とする。 上記基準を満たした者に進級・卒業資格を付与し、進級・卒業判定会議において校長が進級・卒業認定の判定を行う。
学修支援等 (概要) ・クラス担任制 クラスごとに担任職員を配置。日々の悩みや相談サポートを行っている。個別での出席指導や社会人教育などサポート体制を整えている。 ・個別面談 定期的に全学生との個別面談を実施。担任による日々のサポートに加え個別面談を定期的に行うことで個別に抱える悩み等をいち早くキャッチし解決を図る。 ・姉妹校との連携授業 日常行うオンライン授業だけではなく姉妹校(東京・マレーシア)とつなぐ高性能なテレビ会議システムを設置。著名クリエイターなどの特別講義や出版社からの作品添削会など、福岡にいながら受講することが可能。 ・株式会社 SCH00 との連携 オンラインで生放送、録画放送を配信する SCH00 と提携。SCH00 が配信するすべての授業を全学生が視聴可能。それにより学校が提供する専門授業以外に学生個々の趣味や思考に合わせ、企画やキャリア、ビジネススキルなど様々な知識・技術を習得することが出来る。 ・就職支援 キャリア担当専門スタッフによる個別指導から基礎・応用ノウハウの習得、就職イベ

ントなど、就職活動を成功させるための指導を幅広く実施。インターンシップや合同企業説明会・企業見学なども細かく行っており学生一人一人の希望に合わせたサポートを行っている。姉妹校との連携システムにより関東・海外など九州圏以外での就職希望にも対応。姉妹校キャリア専任スタッフとのカウンセリングなども随時行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） ジュエリー販売／雑貨販売／日用雑貨販売／ウェディング系 他			
（就職指導内容） 就職面接対策／個別指導／学内企業説明会／インターンシップ 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） Adobe 検定（Ai/Ps）／色彩検定			
（備考）（任意記載事項） 総定員はデザイン学科 2 年制コミックイラスト科、マンガ科、映像・写真科、 雑貨&アクセサリデザイン科の合計人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 年間 3 回の個別面談／特別カウンセリング 他		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
デザイン学科(3 年制)	180,000 円	700,000 円	270,000 円	
クリエイティブ学科(3 年制)	180,000 円	700,000 円	270,000 円	
デザイン学科(2 年制)	180,000 円	700,000 円	270,000 円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の基本方針・目的を基に適切な教育活動の実現と質の高い教育効果を実現できているか学外関係機関からの評価を行う。 学校関係者評価委員会では毎年3月に実施する自己評価の結果に基づいて学外関係機関から評価・助言をいただく。 学校関係者評価委員会を実施することにより情報の透明性を図り、学校側は今後の改善の参考とし、質の保証と向上を目指していくことを目的とする。 また学校関係者からの理解と参画を得ることにより地域におけるステークホルダーと学校との連携協力による特色ある学校づくりを進める。 評価として委員から出た意見については、事務局事務局長を責任者とし、4月より具体的に問題点を整理し、重要改善事項として改善を図る。進捗状況・改善結果については事務局より学校関係者評価委員へ10月に中間報告を行い、3月の学校関係者評価委員会にて最終報告を行う。 (評価委員会の構成) 業界関係者2名、業界関係者・卒業生2名、地域住民1名、高等学校1名 計6名 (評価項目) ①教育理念 ②学校運営 ③教育活動 ④教育成果 ⑤学生支援 ⑥施設整備 ⑦学生募集 ⑧財務 ⑨法令順守 ⑩社会貢献 ⑪国際交流		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ダブルベース 取締役	2024年6月1日～ 2026年5月31日(2年)	業界関係者
井上総合印刷株式会社 代表取締役	2024年6月1日～ 2026年5月31日(2年)	業界関係者

株式会社ディーゼロ 執行役員	2024 年 6 月 1 日～ 2026 年 5 月 31 日 (2 年)	業界関係者・卒業生
トゥモローデザイン	2024 年 6 月 1 日～ 2026 年 5 月 31 日 (2 年)	業界関係者・卒業生
東住吉公民館 主事	2024 年 6 月 1 日～ 2026 年 5 月 31 日 (2 年)	地域住民
学校法人恭敬学園 学園長	2024 年 6 月 1 日～ 2026 年 5 月 31 日 (2 年)	高等学校
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.ndg-nbs.ac.jp/disclosure/ 情報公開		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ndg-nbs.ac.jp
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H140313000092
学校名（〇〇大学 等）	専門学校日本デザイナー学院
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人九州呉学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		84人（ 0 ）人	79人（ 0 ）人	85人（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	50人	43人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	20人	23人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				85人（ 0 ）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が「廃止」の基準に該当）	-	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期	
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人	

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	-	0人	0人
G P A等が下位4分の1	-	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-	0人	0人
計	-	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。